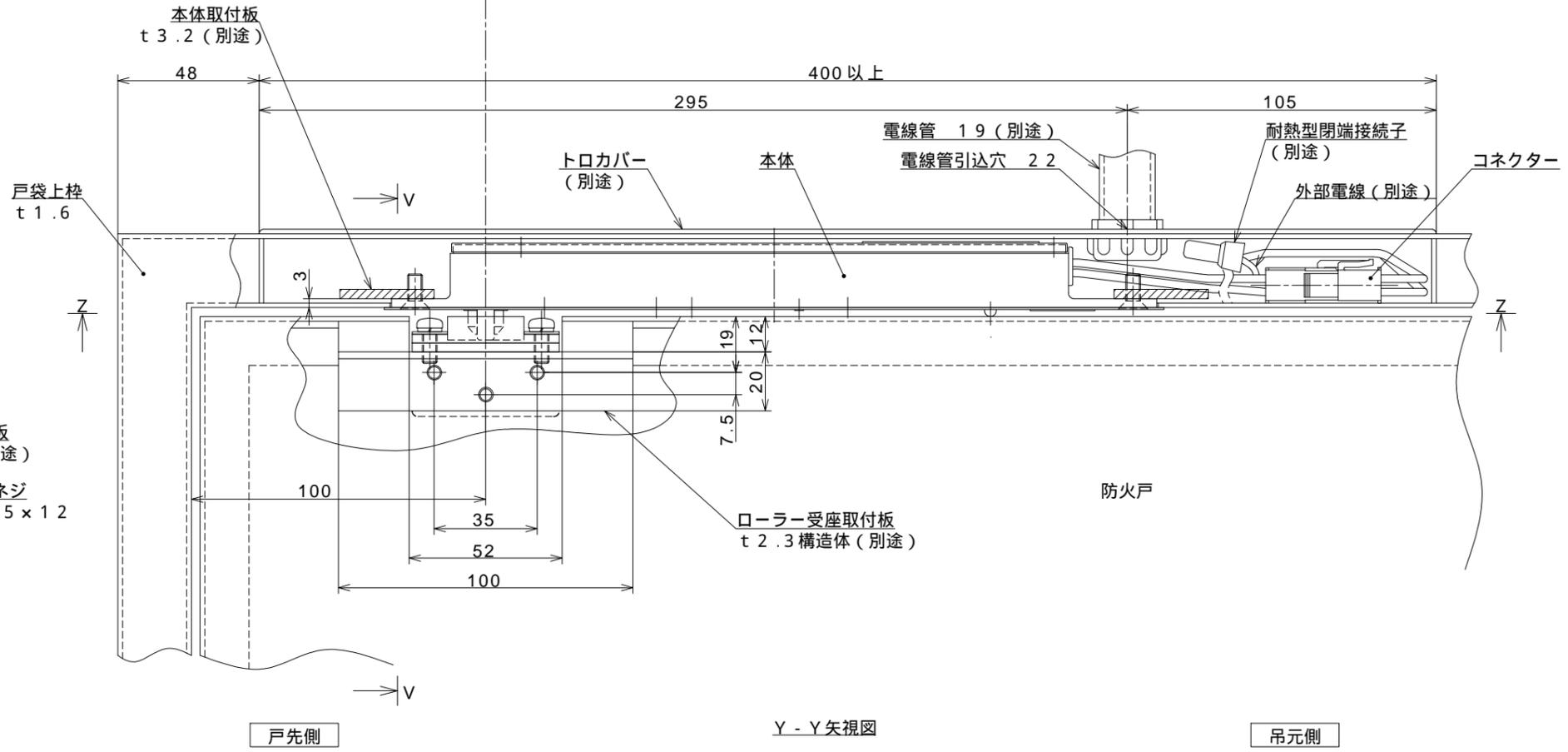
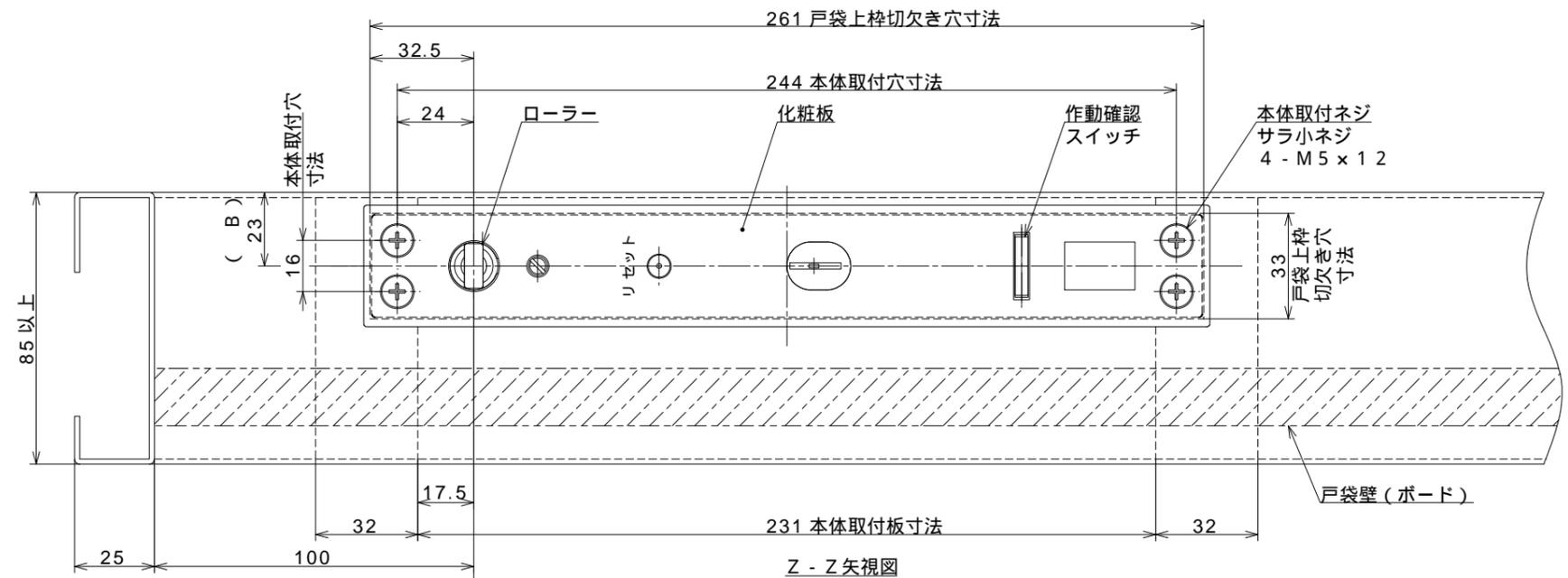
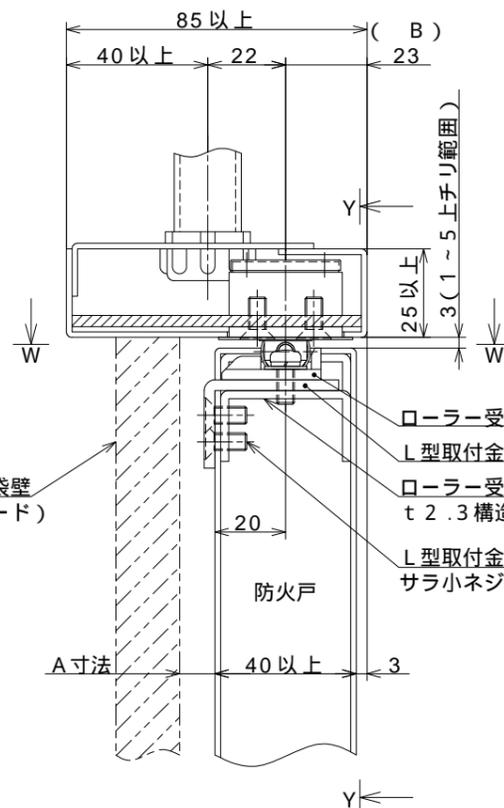
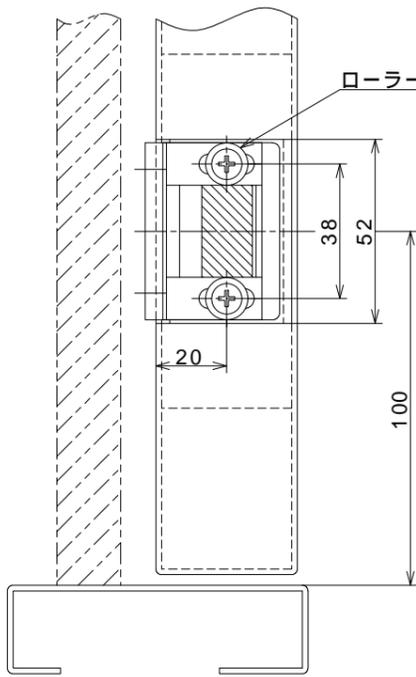


納まり図



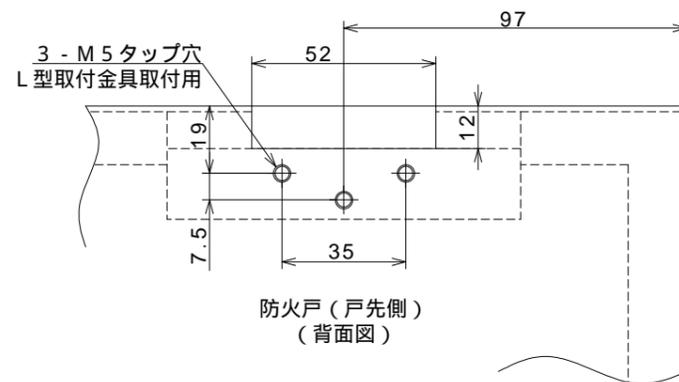
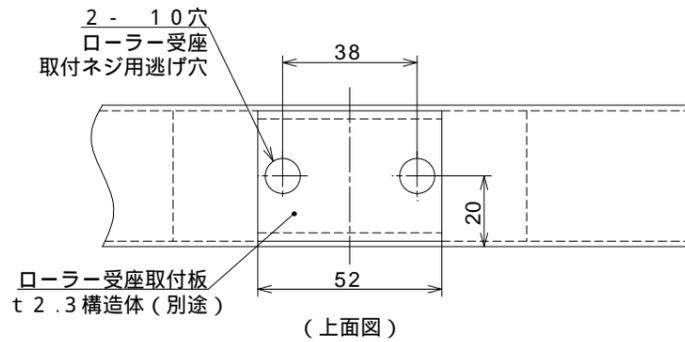
1. 本図は戸袋上枠と防火戸との上チリを 3 mm、面落ちを 3 mm、防火戸の厚み 40 mm を基準として表示します。
2. (B) 部は面落ち及び防火戸の厚みによって変わります。
3. 本図は右開きを示します。
4. 戸袋壁 (ボード) と防火戸との隙間 (A 寸法) に戸当り等を設けてください。詳細は取付要領図 5 《施工上の注意》 強制項目 No. 7 をご参照ください。

N-64D型電磁リリース 取付要領図 1

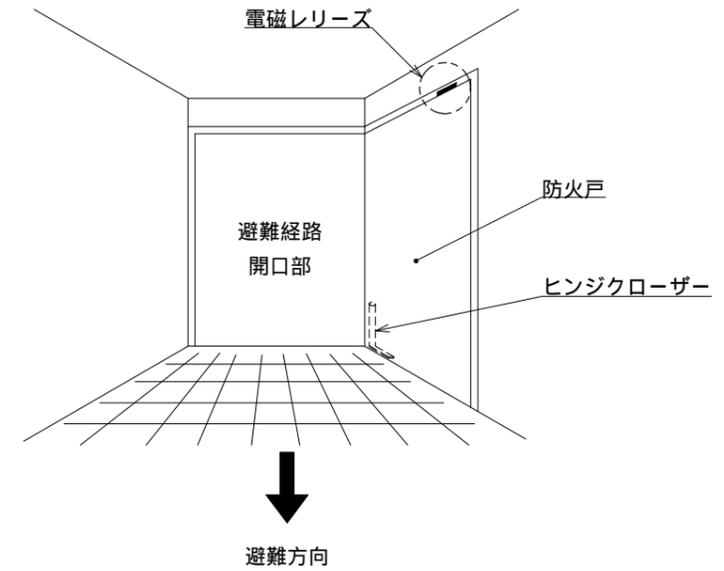
| | | | | | | | |
|----|-----|----|------------------|----|------------------|----|------------------|
| 尺度 | 1/2 | 承認 | 三枝 2012.06.08 | 検図 | 清水 2012.06.08 | 設計 | 市川 2012.06.08 |
|----|-----|----|------------------|----|------------------|----|------------------|

ニッケイ株式会社 図番 AR-31605

戸袋上枠・防火戸切欠き図



電磁リリース取付概要図



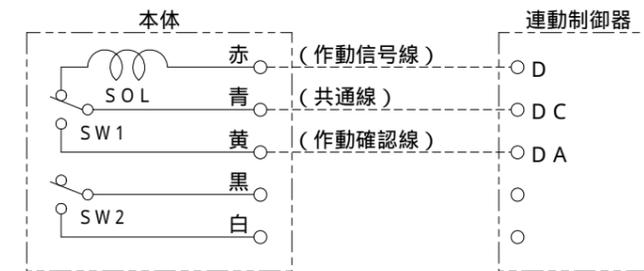
結線図

4. 本体のリード線に極性 (+, -) はありません。
(1) 通常の結線方法 (電気作動前の状態を表示しています。)



手動解除時も作動確認表示を出力する回路です。

- (2) 手動解除時に作動確認表示を出力しない場合の結線方法 (電気作動前の状態を表示しています。)



黄色線 (作動確認線) は、電気作動時に作動確認表示を出力し、手動解除時は作動確認表示を出力しない回路です。

N-64D型電磁リリース 取付要領図 2

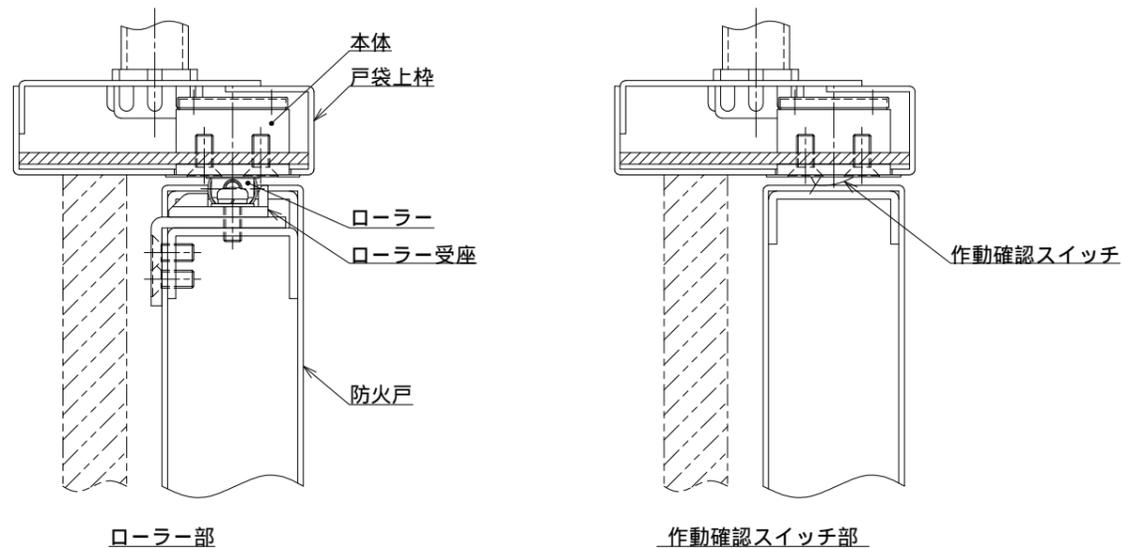
| | | | | | | | |
|----|-----|----|------------------|----|------------------|----|------------------|
| 尺度 | 1/2 | 承認 | 三枝 2012.06.08 | 検図 | 清水 2012.06.08 | 設計 | 市川 2012.06.08 |
|----|-----|----|------------------|----|------------------|----|------------------|

ニッケイ株式会社 図番 AR-31606

作動説明図

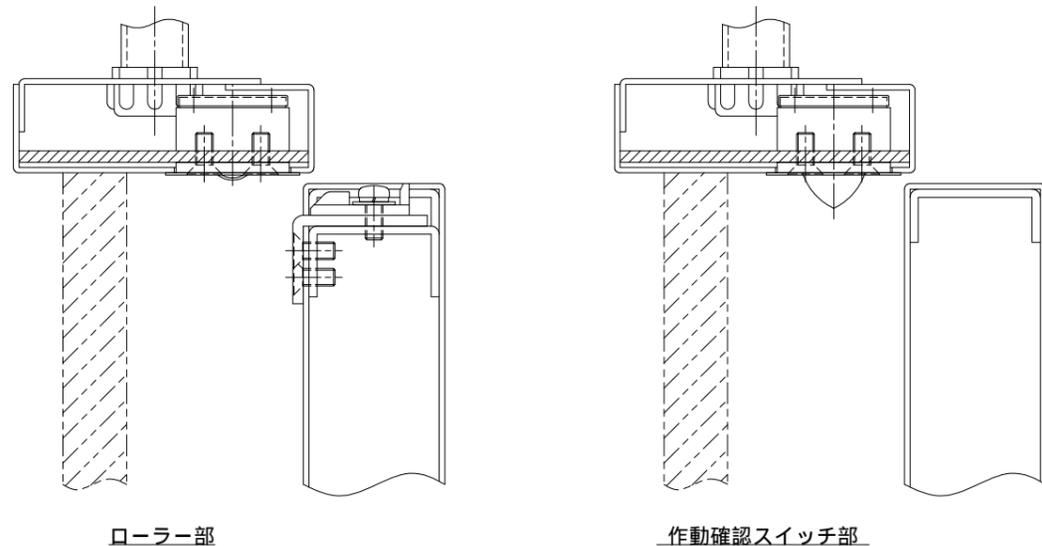
1. 戸袋収納状態（本体作動前）

戸袋上枠に取り付けた本体のローラーと、防火戸に取り付けたローラー受座が保持し、戸袋に収められた防火戸を開放保持（ストップ）しています。作動確認スイッチは防火戸に押されて本体内部に入り込み、内蔵しているスイッチがOFF状態になるため、作動確認表示は出力しません。



2. 戸袋から解放された状態（本体作動後）

火災の際、熱または煙感知器が感知し、連動制御器からの電気作動信号によりローラーが本体内部に収納され、ローラー受座との保持が外れて防火戸の開放保持（ストップ）が解除されます。解放された防火戸は、ヒンジクローザーの閉扉力で閉鎖を始めます。また、防火戸の開放保持（ストップ）を手動で解除する場合は、防火戸を開放保持（ストップ）している以上の力で戸袋より引き出すことで、本体のローラーとローラー受座との保持が外れて開放保持（ストップ）が解除され閉鎖を始めます。作動確認スイッチは防火戸が戸袋より解放されることで本体内部より突き出て、内蔵しているスイッチがON状態になるため、作動確認表示を出力します。



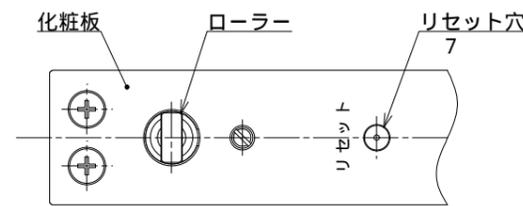
本体の操作方法について

防火戸の開放保持（ストップ）解除方法（防火戸作動状態）

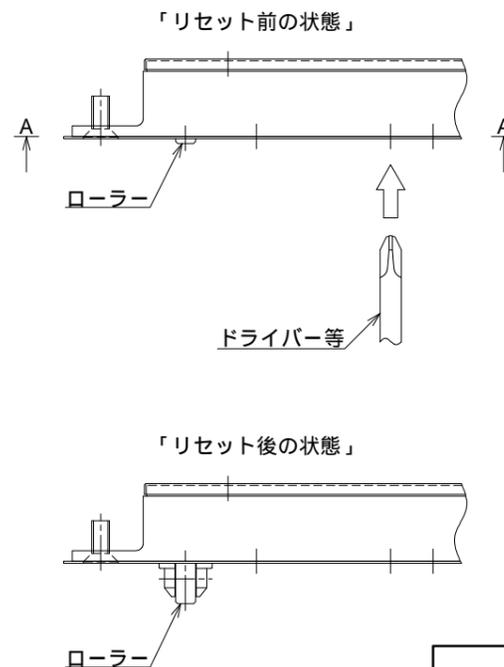
火災等の非常時や定期点検時に連動制御器からの電気作動信号により、本体が作動して防火戸の開放保持（ストップ）を解除します。また、手動で開放保持（ストップ）を解除する場合は、防火戸を開放保持（ストップ）している以上の力で防火戸を戸袋より引き出すことで解除できます。詳細は『作動説明図』をご参照ください。

防火戸の開放保持（ストップ）方法（防火戸復帰状態）

電気作動信号による避難経路開口部の閉鎖完了状態から防火戸を開放保持（ストップ）する際は、本体のリセット操作を行ってください。本体のリセット穴に 6 mm以下のドライバー等の工具を差し込み、「カチッ」と音がするまでゆっくりと垂直に押し上げてください。「カチッ」と音がしたら、本体からローラーが突き出た状態になり、リセット操作が完了します。その状態で、防火戸を戸袋に収納することにより開放保持（ストップ）が完了します。なお、本体のリセット操作を行わずに防火戸を戸袋に収納しても開放保持（ストップ）することはできません。また、連動制御器からの電気作動信号を受信している間は、本体のリセット操作をすることはできません。手動解除による避難経路開口部の閉鎖完了状態から防火戸を開放保持（ストップ）する際は、本体のリセット操作を行う必要はなく、防火戸を戸袋に収納することにより開放保持（ストップ）が完了します。



A - A 矢視図



N-64D型電磁リリース 取付要領図 3

| | | | | | | | |
|----|-----|----|------------|----|------------|----|------------|
| 尺度 | 1/2 | 承認 | 三枝 | 検図 | 清水 | 設計 | 市川 |
| | | | 2012.06.11 | | 2012.06.11 | | 2012.06.11 |

ニッケイ株式会社 図番 AR-31607